

パブリックコメントの結果

案の名称	台東区放課後対策の方針（中間のまとめ）		
意見募集期間	平成29年10月2日（月）～10月23日（月）まで		
意見受付件数	34人 43件		
提出方法の内訳	郵送 0人 0件	ファクシミリ 2人 2件	
	電子メール 5人 5件	持参 27人 36件	
提出された意見と区の考え方（類似する意見は、取りまとめて掲載しています。）			

1 放課後子供教室

	項目	意見	区の考え方
1	居場所について	同じ学校内で過ごすことは、気分を変えることができない。（他2件）	放課後の居場所として、放課後子供教室のほか、児童館やこどもクラブを整備していますので、家庭やお子様の状況に応じてご利用ください。
2	居場所について	長期休業中のお昼を食べる場所が大切だと思う。（他1件）	長期休業中につきましては、お弁当を持参いただき、食事ができるようにしていきます。
3	活動場所について	放課後活動が盛んな学校では、校庭や体育館など活動場所の確保できないのではないかな。	学校の規模や施設の状況、活動団体など、各学校で異なりますので、学校運営に支障がないよう、児童の安全・安心に配慮し、学校ごとに検討し、実施していきます。
4	指導者や活動場所について	今後、放課後子供教室の事業者の選定やスペースの確保はどのように進めるのか。	放課後子供教室の運営事業者は公募により運営実績や提案内容等を確認し、選定いたします。活動場所については各学校と調整し、検討していきます。
5	出欠管理について	こどもクラブは出欠確認があるので安心だが、放課後子供教室は子供の所在確認はどのようにしているのか。	放課後子供教室に参加する際に、参加カードをご提出いただき、出欠の確認をしています。
6	おやつについて	放課後子供教室でもおやつの提供ができると助かる。（他1件）	多くの児童が参加する事業になりますので、アレルギーの心配や衛生管理等の問題もありますので、現在のところは提供を予定していません。

	項目	意見	区の考え方
7	他校児童との交流	こどもクラブでは、他の学校の児童もいたので、横の繋がりがあった。放課後子供教室ではそれが無いのが不安に感じる。	放課後子供教室では同校内児童の異学年との交流を積極的に図ります。他校の児童との交流につきましては、児童館等をご活用ください。
8	安全管理について	学校は建物がこどもクラブよりも大きな施設だ。安全や防犯をよく検討してほしい。	児童の安全確保のため、学校内の活動できる場所を決めて、スタッフが適切に見守りを行います。
9	安全管理について	放課後子供教室には定員がないが、職員が安全に子供を見るのには限界があるので。	学校の規模、想定される利用人数等で適切にスタッフの人数を決定いたします。活動プログラムによっては、安全のため、参加人数の制限をすることも想定されます。
10	障害児の利用について	障害がある児童は、放課後子供教室の利用が心配。	現在実施している放課後子供教室では、配慮を要する児童が参加する場合には職員を加配していますが、全児童を対象とした集団活動のためプログラムによっては、保護者等の付添いをお願いすることもあります。
11	相談先について	現在実施している放課後子供教室に関する相談窓口がわかりにくい。	小学校を通じたチラシの配布などによって周知していますが、分りやすくなるよう改善していきます。
12	ボランティア参加について	ボランティアで参加するときはスタッフの方と打合せの場がほしい。	よりよい運営のためにも、ご協力いただける方々とスタッフとの打合せ等ができるようにしていきます。
13	地域との連携について	放課後子供教室を実施する際は、地域や町会などとも情報共有があったほうがよい。 (他1件)	放課後子供教室の運営については、学校ごとに協議の場を設け、情報共有を行い、地域のご意見を取り入れながら運営を進めていきます。
14	情報発信について	HPやおたよりなどで、情報をお知らせをすると利用が増えるのでは。(他1件)	放課後子供教室では毎月のお知らせを発行して、ご利用しやすいよう周知に努めます。
15	情報発信について	これから就学する幼稚園やこども園、保育園に情報提供してほしい。	現在、入学前の説明会等を活用させていただき、放課後子供教室についてのPRを行っています。今後とも周知を進めていきます。

	項目	意見	区の考え方
16	進め方について	毎日校庭開放から始めてはどうか。(他1件)	プログラムの実施により、学力向上や体力向上ができるのが放課後子供教室の目的の一つです。学校内の施設を利用させていただくので、学校とも調整をし、丁寧に進めていきます。
17	終了時間について	保育園と同じ19時までにししないと社会の実態からずれているのではないかと。	学校の施設を利用し、多くの児童が学校から下校するため、安全性等を考慮して、夕方16時45分頃を終了時間と設定しています。児童の安全・安心のためご理解いただきたいと思えます。 <u>P17に放課後子供教室の具体的な実施内容を記載しました。</u>
18	実施時期について	放課後子供教室を全校で展開することは、保育需要からみてもスピード感を持って進めてほしい。学校施設を利用できることで、移動が安心で、広さが魅力だ。ぜひ、19校での放課後子供教室の早めの実施を希望する。	放課後の児童の安全・安心のためにも、今後の事業実施については、学校ごとに充分協議して進めていきます。

2 こどもクラブ

	項目	意見	区の考え方
1	待機児童対策について	保育園とこどもクラブが利用できないのは、働く親にとって大きな壁だ。待機児童ゼロにしてほしい。	現在待機児童解消のため、保育園の整備を進めております。こどもクラブにつきましても、放課後子供教室の実施とともに、小学校区域にこどもクラブが無く、需要が高い小学校区に、こどもクラブを整備します。
2	こどもクラブについて	現在、こどもクラブを利用しているが、子供のことをよく見ている。これからもこどもクラブを利用したい。	今後も引き続き安心してご利用いただけるよう実施していきます。
3	こどもクラブについて	こどもクラブは地域の中での重要な施設となっているので、今後も継続し、充実してほしい。	こどもクラブの運営にあたっては地域や保護者の方々のご意見をいただき、よりよい運営ができるよう進めていきます。

	項目	意見	区の考え方
4	送迎サービスについて	学校から遠いこどもクラブに送迎サービスがあってもよいのでは。	送迎の実施予定はありませんが、児童の安全・安心のためにも、学校から近いこどもクラブに入会していただけるような対策を進めています。
5	定員について	こどもクラブの定員を減少するべきではないのでは。(他1件)	放課後子供教室等の整備により、こどもクラブの需要が減少した場合など、需要を見定め、適切に定員等の見直しを行います。
6	こどもクラブの定員拡大について	こどもクラブの定員拡大はデメリットが多いと思う。	需要に応じて定員を設定しておりますが、定員拡大の際には、児童の安全に十分に配慮し、施設面積や支援員を確保し、実施しています。
7	校内こどもクラブについて	誰もが安心できるのは、学校内のこどもクラブだと考えている。	本区では学校内へのこどもクラブ設置を推進しておりますが、学校内にこどもクラブを整備することが難しい場合には、校外にこどもクラブを整備し、ご利用いただいています。登室の際には、集団での登室など安全に配慮をしています。
8	障害児保育について	施設の立地場所が区の中央にかたまっている。	高学年障害児保育実施こどもクラブは現在9つのこどもクラブで実施しており、引き続き、施設改修時等に整備を進めていきます。
9	放課後等デイサービスについて	助成金額の増額を検討してほしい。	放課後等デイサービスは、法律で定められた障害福祉サービスとなります。利用者負担については、国や都の動向をみながら進めていきます。

3 児童館

	項目	意見	区の考え方
1	児童館について	児童館を乳幼児専用の施設にしてほしい。	児童館は0歳から18歳までの子供達が自由に利用できる施設で、地域における児童の健全育成の拠点としての役割を担っています。各児童館では幼児タイムや様々な乳幼児と保護者を対象としたイベント等を実施していますので、ご利用ください。

	項目	意見	区の考え方
2	児童館について	児童館を中高生が利用しやすいように設備を整えては。	現在今戸児童館・台東児童館で、平日午後6時～7時まで中高生が利用しやすいよう「中高生タイム」を実施しています。 今後につきましては、需要の変化を見定めていきます。
3	児童館について	放課後子供教室では子供の気持ちの切り替えができないのでは。児童館が必要である。(他2件)	放課後の居場所として、放課後子供教室、児童館、こどもクラブを総合的に実施していきますので、引き続き児童館もご利用ください。

4 その他

	項目	意見	区の考え方
1	中学生の居場所について	中学生になってからの居場所がほしい	今戸児童館・台東児童館で、中高生専用の利用時間を設け「中高生タイム」を実施していますので、ぜひご利用ください。
2	保育の多様化について	放課後保育が必要な家庭が増え、こどもクラブ、放課後子供教室、生活指導子ども会、児童館、放課後等デイサービスなど放課後の居場所が増えるのは安心だ。	本区では様々なご家庭やお子様の状況に応じて対応できるよう総合的に放課後対策を実施しております。ご家庭やお子様の状況に応じてご利用ください。
3	居場所について	様々な形で放課後の子供達が安全・安心に過ごす場所が増えていることに感謝している。	全ての児童にとって安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、今後とも放課後対策を進めていきます。